

1. 次の不等式を解け。

(1) $2(2x-13) > 3(3x-7)$

両辺を展開すると $4x-26 > 9x-21$
 移項すると $4x-9x > -21+26$
 よって $-5x > 5$
 両辺を -5 で割って $x < -1$

(2) $\frac{x}{2} + 1 < \frac{x}{3} + 2$

両辺に 6 を掛けると $6(\frac{x}{2} + 1) < 6(\frac{x}{3} + 2)$
 すなわち $3x+6 < 2x+12$
 移項して整理すると $x < 6$

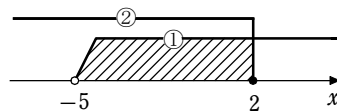
(3) $0.3x - 0.9 \geq 0.5x - 1.3$

両辺に 10 を掛けると $3x-9 \geq 5x-13$
 移項して整理すると $-2x \geq -4$
 両辺を -2 で割って $x \leq 2$

2. 次の不等式を解け。

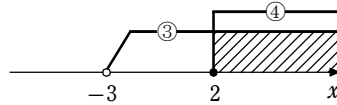
(1) $\begin{cases} 5x+8 > 2x-7 \\ 8x-3 \leq 3x+7 \end{cases}$

$5x+8 > 2x-7$ から $3x > -15$
 よって $x > -5$ ①
 $8x-3 \leq 3x+7$ から $5x \leq 10$
 よって $x \leq 2$ ②
 ①と②の共通範囲を求めて $-5 < x \leq 2$



(2) $2x-1 < 5x+8 \leq 7x+4$

$2x-1 < 5x+8$ ①
 $5x+8 \leq 7x+4$ ②
 ①を整理すると $-3x < 9$
 よって $x > -3$ ③
 ②を整理すると $-2x \leq -4$
 よって $x \geq 2$ ④
 ③と④の共通範囲を求めて $x \geq 2$



3. 不等式 $3x-5 < x+7 \leq 2x+9$ を満たす正の整数 x の値を求めよ。

$3x-5 < x+7$ から $2x < 12$ よって $x < 6$ ①
 $x+7 \leq 2x+9$ から $-x \leq 2$ よって $x \geq -2$ ②
 ①と②の共通範囲を求めて $-2 \leq x < 6$
 求める正の整数 x の値は $x=1, 2, 3, 4, 5$

4. 次の方程式, 不等式を解け。

(1) $|x+2|=4$

$|x+2|=4$ から $x+2 = \pm 4$
 したがって $x=2, -6$

(2) $|2x-1|=5$

$|2x-1|=5$ から $2x-1 = \pm 5$
 $2x-1=5$ から $x=3$
 $2x-1=-5$ から $x=-2$
 したがって $x=3, -2$

(3) $|3x+2| < 5$

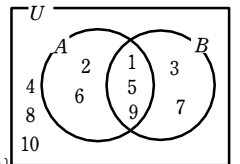
$|3x+2| < 5$ から $-5 < 3x+2 < 5$
 各辺から 2 を引いて $-7 < 3x < 3$
 したがって $-\frac{7}{3} < x < 1$

(4) $|2x-3| \geq 2$

$|2x-3| \geq 2$ から $2x-3 \leq -2, 2 \leq 2x-3$
 よって $2x \leq 1, 5 \leq 2x$
 したがって $x \leq \frac{1}{2}, \frac{5}{2} \leq x$

5. 全体集合 $U=\{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10\}$ の部分集合 A, B を $A=\{1, 2, 5, 6, 9\}, B=\{1, 3, 5, 7, 9\}$ とする。

次の集合を求めよ。



(1) $A \cup B$ (2) $A \cap B$

$A \cup B = \{1, 2, 3, 5, 6, 7, 9\}$ $A \cap B = \{1, 5, 9\}$

(3) \overline{A} (4) $A \cap \overline{B}$

$\overline{A} = \{3, 4, 7, 8, 10\}$ $\overline{B} = \{2, 4, 6, 8, 10\}$ から
 $A \cap \overline{B} = \{2, 6\}$

6. x, y は実数とする。次の に、「必要」、「十分」、「必要十分」のうち、最も適する言葉を入れよ。

(1) $x=1$ は $x^2=1$ であるための 条件である。

(2) $x=y=2$ は $2x+y=6$ かつ $2x-y=2$ であるための 条件である。

(3) $x \leq 3$ は $x \leq 1$ であるための 条件である。

(1) 「 $x=1 \implies x^2=1$ 」は真。
 「 $x^2=1 \implies x=1$ 」は偽。(反例: $x=-1$)
 よって、十分条件である。

(2) $x=y=2$ のとき $2x+y=2 \cdot 2+2=6$
 $2x-y=2 \cdot 2-2=2$
 したがって、「 $x=y=2 \implies 2x+y=6$ かつ $2x-y=2$ 」は真。
 連立方程式 $2x+y=6, 2x-y=2$ を解くと $x=2, y=2$
 したがって、「 $2x+y=6$ かつ $2x-y=2 \implies x=y=2$ 」は真。
 よって、必要十分条件である。

(3) 「 $x \leq 3 \implies x \leq 1$ 」は偽。(反例: $x=3$)
 「 $x \leq 1 \implies x \leq 3$ 」は真。
 よって、必要条件である。

7. x, y は実数とする。次の命題の真偽を調べよ。また、その逆、対偶、裏を述べ、それらの真偽を調べよ。

$$x + y = 3 \implies x = 1 \text{ かつ } y = 2$$

与えられた命題は 偽 (反例: $x = 0, y = 3$)

逆: 「 $x = 1$ かつ $y = 2 \implies x + y = 3$ 」 これは 真

対偶: 「 $x \neq 1$ または $y \neq 2 \implies x + y \neq 3$ 」
与えられた命題は偽であるから、対偶も 偽

裏: 「 $x + y \neq 3 \implies x \neq 1$ または $y \neq 2$ 」
与えられた命題の逆は真であるから、裏も 真

8. $f(x) = -2x + 3, g(x) = -x^2 + 2x + 2$ において、次の値を求めよ。

(1) $f(3) \quad f(3) = -2 \cdot 3 + 3 = -3$

(2) $f(-2) \quad f(-2) = -2 \cdot (-2) + 3 = 7$

(3) $f(a-2) \quad f(a-2) = -2(a-2) + 3 = -2a + 4 + 3 = -2a + 7$

(4) $g(-3) \quad g(-3) = -(-3)^2 + 2 \cdot (-3) + 2 = -13$

(5) $g(-a) \quad g(-a) = -(-a)^2 + 2 \cdot (-a) + 2 = -a^2 - 2a + 2$

(6) $g(a+1) \quad g(a+1) = -(a+1)^2 + 2(a+1) + 2 = -(a^2 + 2a + 1) + 2a + 2 + 2 = -a^2 + 3$

9. 2次関数 $y = -x^2 - 3x + 1$ のグラフをかけ。また、その軸と頂点を求めよ。

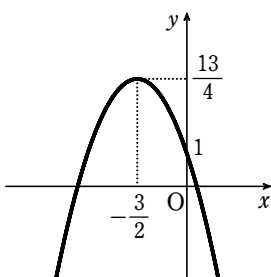
$$\begin{aligned} -x^2 - 3x + 1 &= -(x^2 + 3x) + 1 \\ &= -\left\{ \left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \left(\frac{3}{2}\right)^2 \right\} + 1 \\ &= -\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{13}{4} \end{aligned}$$

よって $y = -\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{13}{4}$

したがって、グラフは [図]。

軸は直線 $x = -\frac{3}{2}$,

頂点は点 $\left(-\frac{3}{2}, \frac{13}{4}\right)$



10. 関数 $y = 3x^2 - 6x - 2$ のグラフを、 x 軸方向に -2 、 y 軸方向に 3 だけ平行移動して得られる放物線の方程式を求めよ。

$y = 3x^2 - 6x - 2$ を変形すると $y = 3(x-1)^2 - 5$
頂点 $(1, -5)$ を x 軸方向に -2 、 y 軸方向に 3 だけ平行移動した点の座標は

$$(1-2, -5+3) \text{ すなわち } (-1, -2)$$

よって、求める放物線の方程式は

$$y = 3(x+1)^2 - 2 \quad (y = 3x^2 + 6x + 1 \text{ でもよい})$$

11. 2次関数 $y = -2x^2 - 8x + 5$ に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

関数の式を変形すると $y = -2(x+2)^2 + 13$
よって、 $x = -2$ で最大値 13 をとる。
最小値はない。

12. 次の条件を満たす放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

(1) 頂点が点 $(1, 2)$ で、点 $(0, 4)$ を通る。

頂点が点 $(1, 2)$ であるから、
この2次関数は $y = a(x-1)^2 + 2$ の形に表される。
グラフが点 $(0, 4)$ を通るから $4 = a(0-1)^2 + 2$
よって $a = 2$
ゆえに $y = 2(x-1)^2 + 2 \quad (y = 2x^2 - 4x + 4)$

(2) 軸が直線 $x = -3$ で、2点 $(-2, 0), (1, -15)$ を通る。

軸が直線 $x = -3$ であるから、
この2次関数は $y = a(x+3)^2 + q$ の形に表される。
グラフが点 $(-2, 0)$ を通るから $0 = a(-2+3)^2 + q$
点 $(1, -15)$ を通るから $-15 = a(1+3)^2 + q$
よって $a + q = 0, 16a + q = -15$
これを解くと $a = -1, q = 1$
ゆえに $y = -(x+3)^2 + 1 \quad (y = -x^2 - 6x - 8)$

13. 3点 $(1, 2), (2, -1), (3, -8)$ を通る放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

求める2次関数を $y = ax^2 + bx + c$ とする。
グラフが3点 $(1, 2), (2, -1), (3, -8)$ を通るから
 $a + b + c = 2 \quad \dots\dots \textcircled{1}$
 $4a + 2b + c = -1 \quad \dots\dots \textcircled{2}$
 $9a + 3b + c = -8 \quad \dots\dots \textcircled{3}$
 $\textcircled{2} - \textcircled{1}$ から $3a + b = -3 \quad \dots\dots \textcircled{4}$
 $\textcircled{3} - \textcircled{2}$ から $5a + b = -7 \quad \dots\dots \textcircled{5}$
 $\textcircled{4}, \textcircled{5}$ を解くと $a = -2, b = 3$
 $a = -2, b = 3$ を $\textcircled{1}$ に代入すると $-2 + 3 + c = 2$
ゆえに $c = 1$
よって、求める2次関数は $y = -2x^2 + 3x + 1$

14. $x = 1$ で最小値 -2 をとり、 $x = -1$ で $y = 6$ となる2次関数を求めよ。

$x = 1$ で最小値 -2 をとるから、この2次関数は
 $y = a(x-1)^2 - 2 \quad (a > 0)$ の形に表される。
 $x = -1, y = 6$ を代入して $6 = a(-1-1)^2 - 2$
ゆえに $a = 2$ これは $a > 0$ を満たす。
よって $y = 2(x-1)^2 - 2 \quad (y = 2x^2 - 4x)$